



# 光星 男子3連覇

## 女子は惜敗準V

バスケットボール  
（青森市マエダアリーナ）

【男子】  
▽準決勝  
八学光星 93  
工大 73  
柴田 60  
田西 51  
戸西 8  
柴田 50  
工大 64  
八学光星 64

【女子】  
▽3位決定戦  
八学光星 78  
柴田 77  
田西 71  
戸西 52  
柴田 69  
八学光星 71

（八学光星は3大会連続7度目の優勝）



「バスケットボール男子決勝・八学光星―工大」第2クォーター、八学光星は角谷光輝（右）が3点シュートを決め、40―28とリードを広げる。青森市マエダアリーナ

## 多彩な攻めで100点ゲーム

### 男子 工大一との同地区対決制す

#### ハイライト

バスケットボール男子決勝では、八学光星が工大一との同地区対決を制して3連覇を達成。ゲームキャプテンを務める角谷光輝は「やるべきことをやり通せた。勝ててうれしい」と納得の笑みを浮かべた。佐々木彰彦コーチがサイスがあるので、1対1で負けないことを心がけている」と話す通り、各選手がゴール下でのリバウンドを次々と奪って得点。ボールをうまく外に散らしながら3点シュートも沈めるなど、多彩な攻めで相手を翻弄した。

「決勝ではリバウンドを取れない時間帯もあった」（角谷）と、100点ゲームでの圧勝にも反省を怠らない。

角谷は全国の強豪相手への挑戦となる。角谷は「インスターハイでは昨年果たせなかったベスト8以上を目指す。全員がしっかりと仕掛け、得点が続くようにしていきたい」と闘志を燃やした。

（千葉達也）

## 悔し涙「次につなげたい」女子

〇…バスケットボール女子で初優勝を狙った八学光星だったが、宿敵・柴田との接戦をものにできず準優勝。佐藤葵主将は「失点を抑えきれなかった。悔しい」と大粒の涙を流した。

今春の県大会決勝では競り勝った相手。「自分たちのペースで粘り強く戦えば、今回も絶対に勝てる」（佐藤）と気合十分で臨んだ。しかし、要所で踏ん張れずに失点。第4クォーターでは追い上げムードをつくったが、わずかな差で及ばなかった。佐藤は「一からチームを作り直す。この負けを次につなげたい」と前を向いた。



「バスケットボール女子決勝・八学光星―柴田」第1クォーター、八学光星は佐藤葵（右）がシュートを決め、9―6とする